

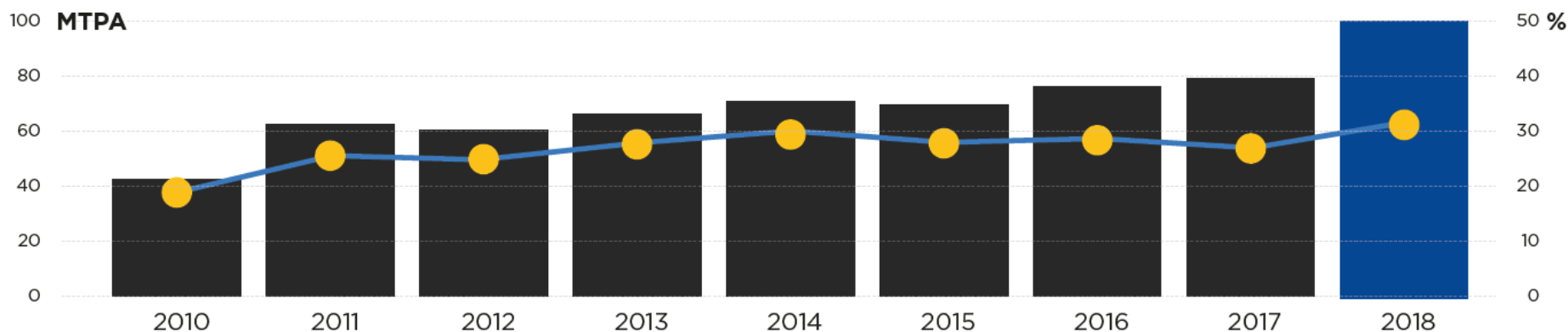
LNG市場の実態と需給調整

2019年4月25日
株式会社JERA

LNG市場の構造

- 近年、LNG市場における短期やスポット取引の割合が拡大傾向にあり、全体の約 3 割を占めるに至っている
- 当社の2018年度の短期やスポット取引も全体の約 2 割を占め、約700万トンまで拡大している状況
- 新規LNGプロジェクト開発には数兆円の資金が必要であり、このファイナンス組成のためには、今後も引き続き長期購入契約は必須。従って、短期やスポット取引が占める割合の急拡大を期待するのは難しい

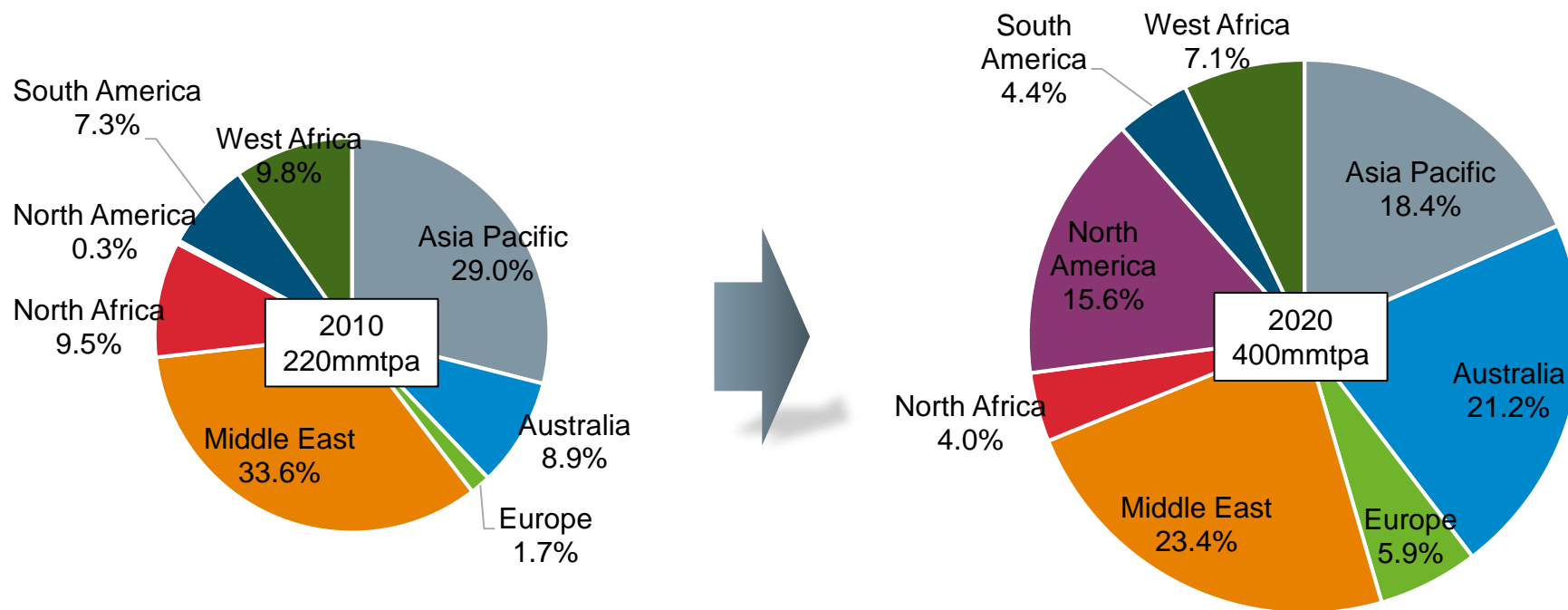
SHARE OF SPOT & SHORT TERM VS. TOTAL LNG TRADE



Source : GIIGNL

契約条件の趨勢

- ①供給源の多様化、②官民一体となった取り組み、③現下の市況、が相まって、仕向地制約に関する至近の傾向としては、2017年6月に公正取引委員会が公表した液化天然ガスの取引実態に関する報告書に沿った内容が実現しつつある状況
- 既存プロジェクトの延長を中心に、契約の短期化についても実現している（ex. マレーシア/アブダビ）



Source : Wood Mackenzie

《参考》JERAの取り組み例

Source：当社プレスリリース

Jera

会社情報事業紹介プレスリリースEnglish

マレーシアLNG社とのLNG売買に関する基本合意について

プレスリリース

2017/10/25

2019年
2018年

株式会社JERAは、本日、Malaysia LNG Sdn. Bhd.（マレーシアLNG社）との間で、LNG売買に関して、基本合意に至りました。

当社は、2018年から3年間、年間最大約250万トンのLNGをマレーシアLNG社より購入する予定です。

当社は、本契約の仕向地条項は、2017年6月に公正取引委員会が公表した「液化天然ガスの取引実態に関する調査報告書」の内容であると考えております。これは、LNG需要の不確実性への対応に貢献するだけでなく、結果として、当社のLNG調達に努めてまいります。

当社は、今後とも、最適なLNG調達ポートフォリオの構築によって、事業環境の変化への柔軟な対応と、競争力ある調達に努めてまいります。

<基本合意の概要>

売主	Malaysia LNG Sdn. Bhd.
買主	株式会社JERA
契約期間	2018年4月～2021年3月（3年間）
契約数量	年間最大約250万トン
引渡条件	DESおよびFOB

Jera

会社情報事業紹介プレスリリースEnglish

TOP / プレスリリース / 2018 / ADNOC LNG社とのLNG売買に関する基本合意について

ADNOC LNG社とのLNG売買に関する基本合意について

2018/08/07

株式会社JERAは、Abu Dhabi Gas Liquefaction Company Limited（ADNOC LNG社）との間で、LNG売買に関して、基本合意に至りました。

当社は、2019年から3年間、年間最大8隻のLNGをADNOC LNG社より購入する予定です。

本契約は、2017年6月に公正取引委員会が公表した液化天然ガスの取引実態に関する報告書に沿った内容となっております。これは、LNG需要変動への対応に貢献するだけでなく、結果として、当社のLNG運用の最適化にも資するものです。

当社は、今後とも、最適なLNG調達ポートフォリオの構築によって、事業環境の変化への柔軟な対応と、競争力ある調達に努めてまいります。

<基本合意の概要>

売主	Abu Dhabi Gas Liquefaction Company Limited
買主	株式会社JERA
契約期間	2019年4月～2022年3月（3年間）
契約数量	年間最大8隻（最大約50万トン／年）
引渡条件	DES

プレスリリース

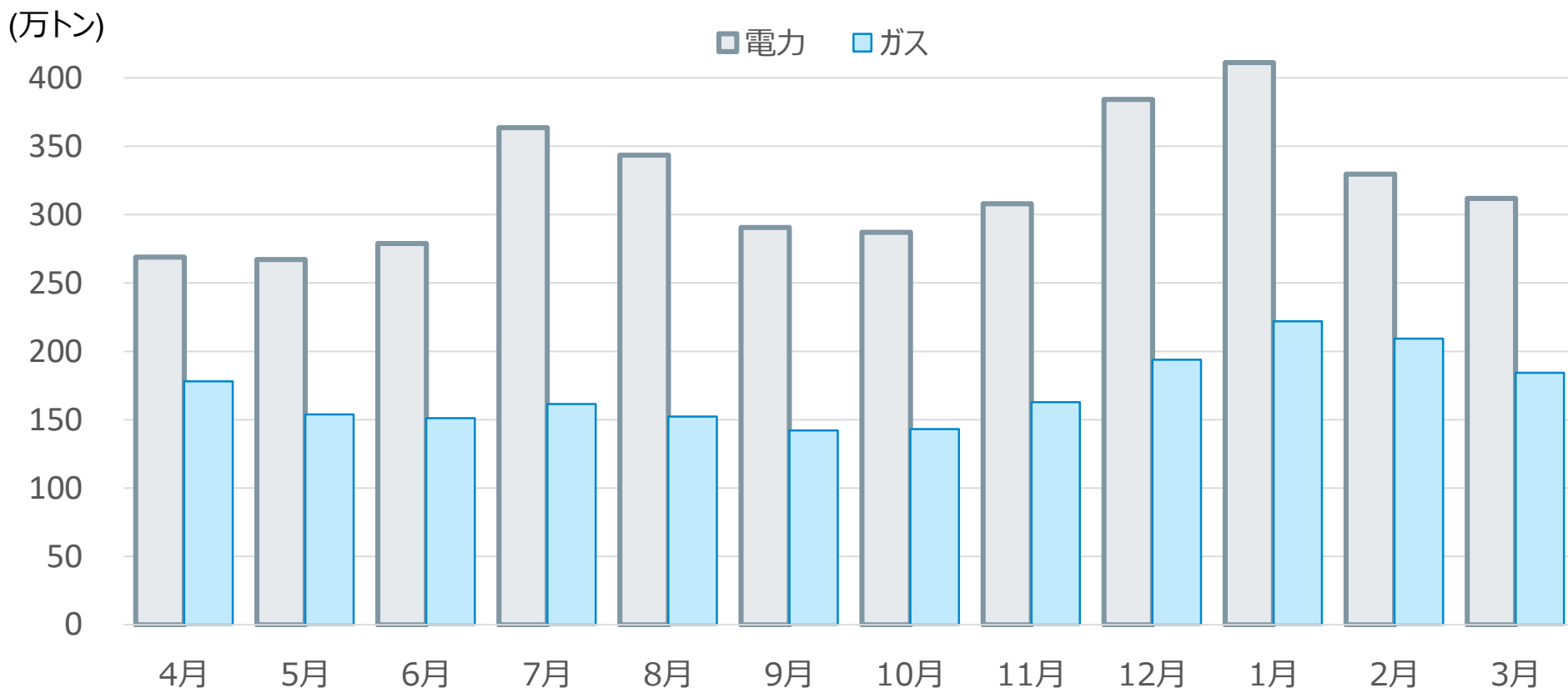
2019年
2018年
2017年
2016年
2015年

お知らせ

2019年

求められる柔軟性

- ①自由化による離脱需要、②再生可能エネルギー導入の拡大により、発電用LNG需要の変動幅が大きく拡大



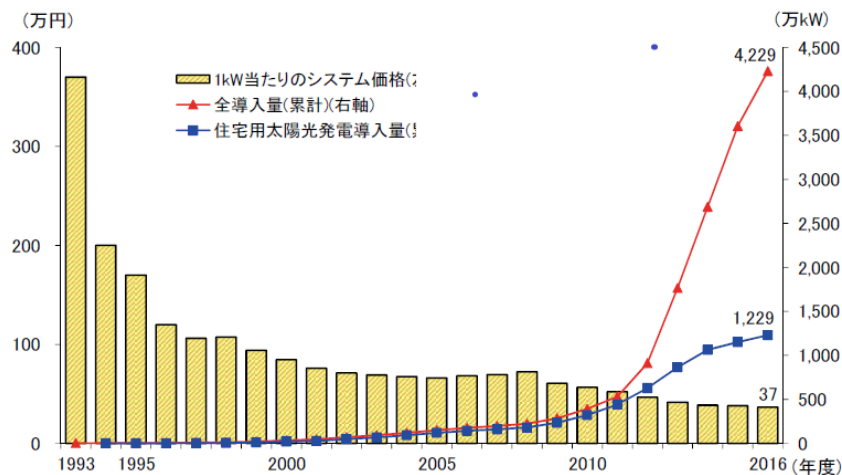
Source : (電力) 東京電力フュエル&パワー株式会社および中部電力株式会社LNG消費量実績(2017年度)を合算

(ガス) 電力・ガス取引監視等委員会 ガス取引報(2017年度)のうち、関東および中部・北陸エリアガス小売事業者ガス販売量を合算・換算(1,220m³/t)して算出

《参考》太陽光発電の火力発電への影響

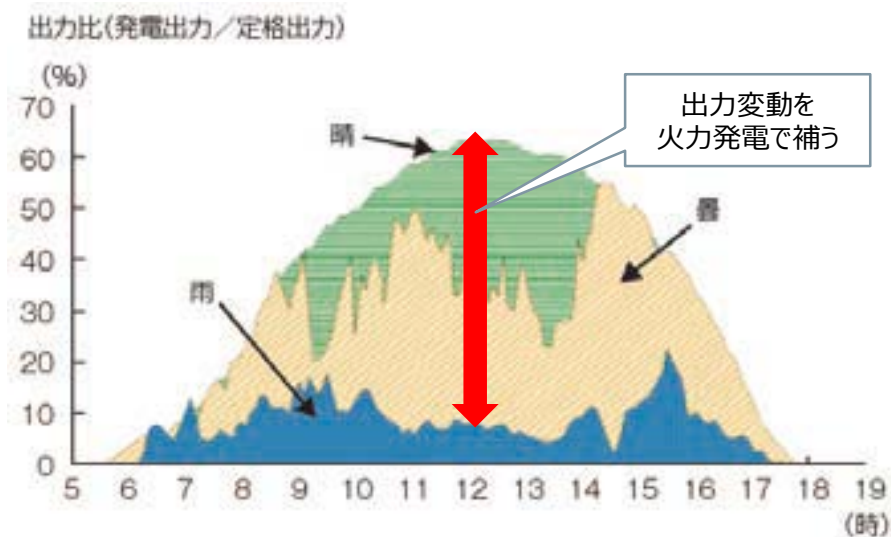
- 近年の太陽光発電の普及は、火力発電運用に対して、瞬間的な電力需給変動の拡大 (ΔkW) と燃料所要量の予測困難化 (kWh) の両面で、短期から中長期的にも多大な影響

太陽光発電の国内導入量とシステム価格の推移



Source : エネルギー白書2018

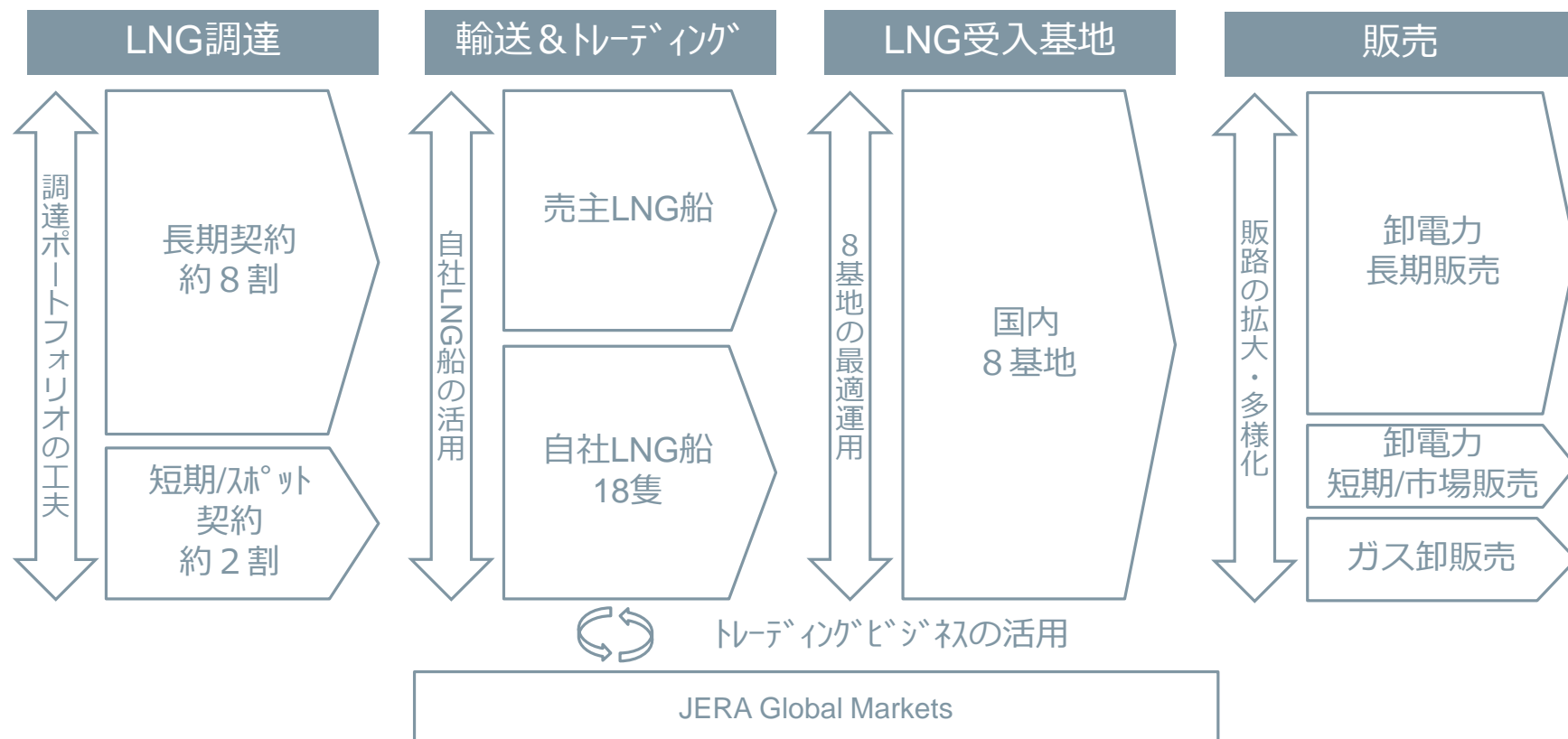
太陽光発電の天候別発電量の推移



Source : エネルギー白書2018

当社の対応

- 前述の状況に対し、当社はサプライチェーン全体で柔軟性を高める取り組みを進めている
- 具体的には、統合による規模拡大を基盤に、①LNG調達（前述）、②シンガポール/ロンドンを拠点としたLNGトレーディング本格稼働、③自社LNG船18隻の導入、④東西8つのLNG受入基地による最適運用、⑤短期相対取引や市場を活用した電力販売等を実施



《参考》JERAの取り組み例

Source：当社プレスリリース

TOP / プレスリリース / 2018 / LNGポートフォリオ最適化の実施に係る最終合意について

LNGポートフォリオ最適化の実施に係る最終合意について

2018/07/03

株式会社JERAは、このたび、EDF Trading（以下「EDFT」）との間で、両社のスポットや短期契約によるLNGの売買や輸送の最適化を両社のJVであるJERA Trading（以下「JERAT」）が一元的に実施することに合意しましたのでお知らせします。

今回の合意により、規制当局による承認を前提として、JERAは、JERATを通じて、2019年前半を目途にLNG調達・販売におけるリスク評価・管理をグローバルに行う体制を整備し、LNGポートフォリオの最適化を開始いたします。

具体的には、JERAのLNG需要や市況などの最新情報についてITシステムを用いて分析することに加え、金融商品取引を実施できる専門人材を確保し、リスクの低減を追求していきます。また、EDFTの持つ欧州のLNG基地・パイプラインガス市場へのアクセスの活用や、当社が参画する米国フリーポートLNGプロジェクトの原料ガス・電力の売買や最適化取引の実施能力を向上させることなどにより、バリューチェーン全体の高度化・効率化を行っていきます。これらにより、欧米の天然ガス・LNG各市場とアジアのLNG市場を繋ぐ統合的な最適化を実現してまいります。

なお、こうしたグローバル市場で新たな取り組みを進めていくことを踏まえ、最適化開始までに、JERATの社名を「JERA Global Markets」に変更することを予定しております。

JERATはEDFTの石炭部門を統合し、2017年4月から約200人体制でグローバルな取引を実施してまいりました。今回の合意に伴い、シンガポール、英国、米国、オランダに加え日本にも新たに拠点を設置し、JERATはLNG・石炭・船舶市場で最適化を展開する世界最大規模のユーティリティ系企業になります。この最適化の展開に際しては、当社は、世界最大規模のLNGバイヤーとしてこれまで積み上げてきた経験を有する専門チームを、EDFTは欧州のメジャープレイヤーとしてトレーディング事業を実施してきた経験者を、それぞれJERATに派遣するなど、約300人体制で取り組んでまいります。

昨今、国内外において再生可能エネルギー導入拡大が進展しておりますが、再生可能エネルギーは、昼夜などの時間帯や天候によって発電量が大きく変動する不安定な電源であり、そのバックアップとしてガス火力発電の役割が重要となっております。このため、より弾力的なLNG調達が求められており、当社は、本取り組みに加えて、柔軟性のあるLNG供給ソースの開発（仕向地自由の拡大など）や新たなLNG需要の開拓（Gas to Power案件の開発）を通じて、透明で流動性の高いアジアLNG市場の創設に積極的に貢献してまいります。

今回の合意により、両社の関係はより一層強化されたと考えていますが、今後も、当社およびEDFTにメリットのある取り組みについて幅広く協議してまいります。

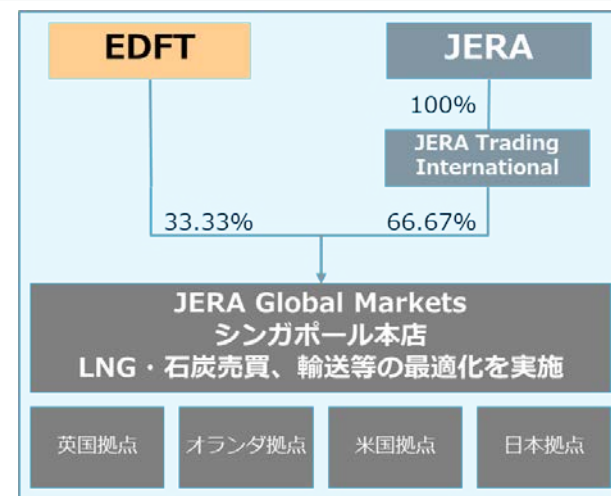
以上

プレスリリース

2019年
2018年
2017年
2016年
2015年

お知らせ

2019年



2019年4月以降の最適化実施体制(約300名)

TOP / プレスリリース / 2019 / LNGポートフォリオ最適化事業の開始について

LNGポートフォリオ最適化事業の開始について

2019/04/02

株式会社JERAは、EDF Trading Limited（以下「EDFT」）との間で、スポットや短期のLNG取引や輸送に関する事業を、両社の出資するJERA Trading Pte. Ltd.へ統合することで合意しております（2018年7月3日お知らせ済み）。

予定された事業統合を終え、4月1日から、社名をJERA Global Markets Pte. Ltd.（以下、JERAGM）に改め、事業を開始いたしましたので、お知らせいたします。

今回の合意により、JERAGMは、両社のスポットや短期のLNG取引やLNGポートフォリオの最適化を一元的に実施いたします。従来の事業にLNG取引等が加わることで、グローバルなLNG・石炭・船舶市場で最適化事業を展開する世界最大規模の企業となります。

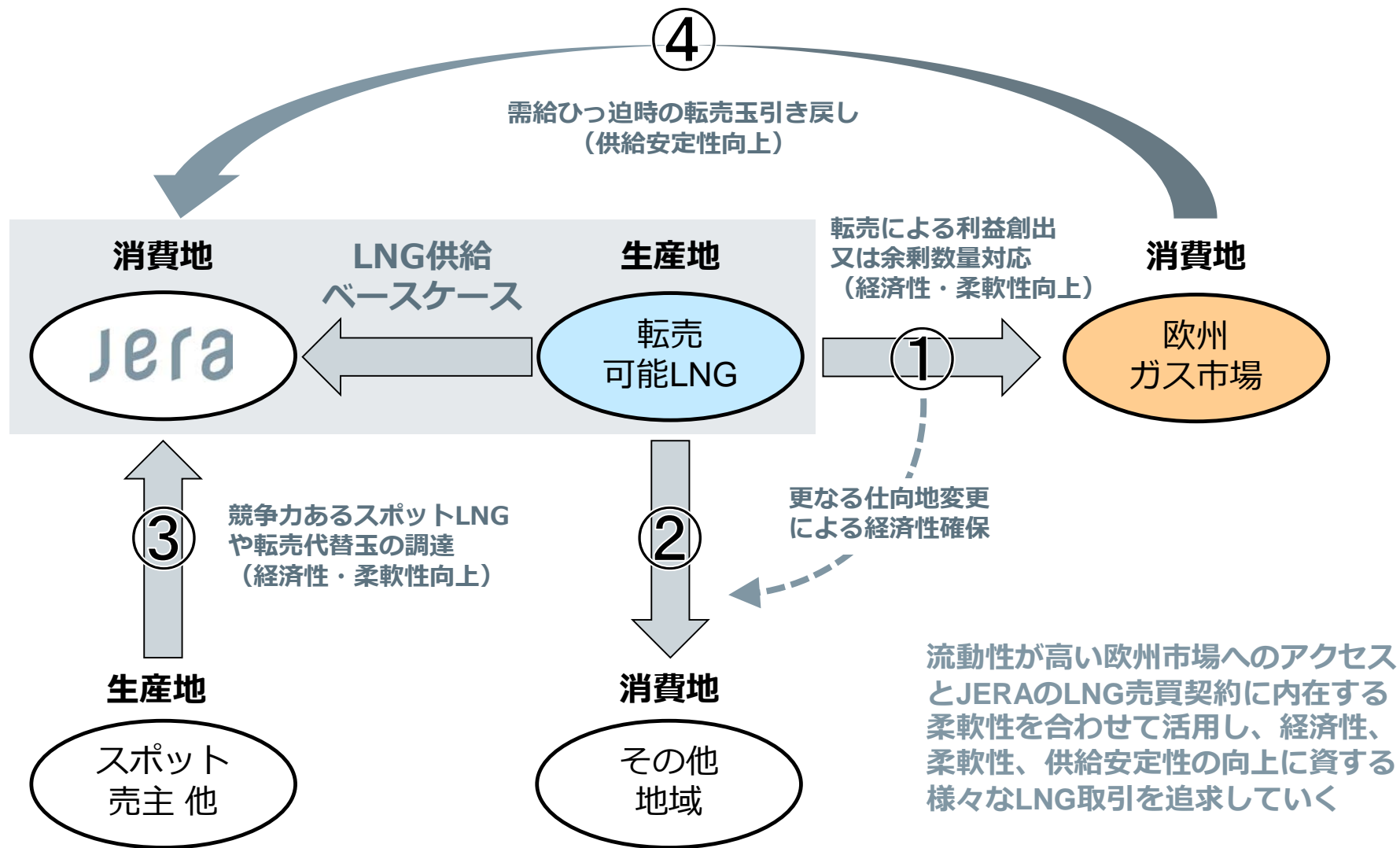
さらに、JERAGMは、欧州のLNG基地・パイプラインガス市場へのアクセスや、当社が参画する米国フリーポートLNGプロジェクトの原料ガス・電力の売買などを通じて、両社のLNG/バリューチェーン全体の高度化・効率化を追求いたします。

当社は、今後も、欧米の天然ガス市場とアジアのLNG市場を繋ぐ統合的な最適化の実現を目指してまいります。また、今回の統合により強化された当社とEDFTの関係を基に、両社にメリットのある取り組みについて幅広く協議してまいります。

<JERA Global Markets Pte. Ltd.の概要>
所在地：シンガポール
代表者：堀西 和範（CEO）
出資者：JERA 66.67%、EDFT 33.33%
拠 点：英国、オランダ、米国、日本

以上

《参考》LNG最適化・トレーディングのコンセプト



一般的なガス卸契約と卸電力契約の比較

- 卸電力取引では短期契約において、お客様のご要望にお応えして契約条件を多様化
- 卸ガス取引については、まずは供給力の確保に取り組んでおり、扇島都市ガス供給を開発中。契約の多様化については、さらなる都市ガス供給力の確保が必要であるが、同事業の事業予見性が低いことが課題

	ガス卸契約の一例		卸電力契約の一例	
契約期間	比較的長期	長期	短期	1年 (常時バックアップ)
中途解約補償料				
年間最低引取量	一般的に有り	一般的に有り	お客様ニーズに応じて さまざまなバリエーション	無し
年間最低引取量 未達補償料				

1

【供給サイドの変化】

LNG市場は、長期契約が大宗という過去の状況から変化し、約 3 割が短期/スポット取引されている現状。資源のない日本にとって、長期契約をベースとした資源の安定確保は重要な命題の一つであることに変わりはない

2

【需要サイドの変化】

自由化による競争激化、再エネの大量導入、お客様ニーズの多様化といった状況変化は電力短期取引等の点で既に顕在化。これを受けて、LNG需要の変動は大幅に拡大している

3

【企業努力の必要性】

7 割の長期契約による資源確保、3 割の短期スポット契約を活用した需給変動対応の両面で、卸電力・ガス事業者としての企業努力が求められているものと認識